



佐藤 博俊

一般社団法人東北経済連合会 副会長

未来への投資による地方創生

3.11東日本大震災から5年6ヶ月、地域事情による進捗の差はあるものの、官民の総力を結集した取り組みにより、一歩ずつではありますが着実に復興への歩を進めております。復興の姿が見えてきた地域もある一方で、復旧・復興事業の施工の最盛期を現在迎えており、皆様方から受けた支援に対し、素晴らしい創造的復興の姿を披露するまでにはまだ時間を要する地域もあります。

そのような中で、台風、豪雨、竜巻、大雪、地震や火山噴火等の自然災害が全国各地で頻発しており、線状降水帯の発生による平成27年9月関東・東北豪雨では、国管理の5河川と都道府県管理の80河川で堤防の決壊、越水や漏水、溢水、堤防法面の欠損・崩落などの被害が発生し、茨城県常総市では鬼怒川決壊等により甚大な被害となりました。宮城県内でも大崎市にある鳴瀬川水系の渋井川をはじめとした河川堤防の破堤や越流等により、住家への浸水等の被害が発生しました。自然災害の発生状況が新たな様相を示しており、これまでの基準でのインフラストックマネジメントのあり方も問われ始めております。

本年4月には、震度7を立て続けに2度記録し、余震の数も過去20年で最多となった直下型の平成28年熊本地震が発生し、倒壊した住宅の下敷きになったり、土砂崩れに巻き込まれるなどといった甚大な被害が発生し、犠牲になられた方々に哀悼の誠を捧げますとともに被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

あらためて災害列島であることを実感し、安全・安心で快適な暮らしを支えるインフラストックに対して、常日頃より安定的・継続的に投資をすることが未来への投資へとつながる重要な施策であると実感しております。

また、東北地方においては高速道路ネットワーク等もフル規格化が完全にはなされておらず、災害時等におけるリダンダシーの必要性からミッシングリンクの早期解決が望まれております。このことにより東北のポテンシャルが存分に生かし切られておりません。ネットワークの構築による企業活動等の効率性・スピード化を図ることは、地方創生の鍵ともなるものであり、経済と雇用に直結する大変重要な事業であります。

石巻と酒田を結ぶ「東北みちのくウエストライン構想」のうちの一部事業着手や、関東・東北豪雨による教訓からの鳴瀬川水系筒砂子ダムの予算化の動き等も見られますが、東北の安全・安心で快適な暮らしの実現と地方創生を実現するための未来への投資を切に念願する次第であります。

皆様方にもインフラストックマネジメントの重要性のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

(東北建設業協会連合会 相談役・さとう ひろとし)